5

新聞・新聞記事検索

過去の事件から、現在のニュースまで。

新聞（原紙）

最新の新聞（朝日 , 毎日 , 読売 , 日経 , 産経 , 神戸）は、
１階新聞コーナーにあります。
朝は朝刊、夕刊が届いたら夕刊に差し替えます。
英字新聞（The Japan Times, International New York Times ,
The Japan News）は、１階カウンター横の新聞架にあります。
バックナンバーは、１階カウンターに利用を申し込んでください。

データベース

キーワードや日付から、新聞記事を検索できます。
朝日新聞『朝日新聞クロスサーチ』、
読売新聞『ヨミダス歴史館』、
日本経済新聞『日経テレコン』は、
図書館ホームページからアクセスできます。
全国紙と地方紙、業界紙などが
まとめて検索できる『日経テレコンフルメニュー版』は、
図書館２階ヘルプデスクで利用を申し込んでください。
海外の新聞はオンラインで利用できる『The Wall Street Journal』や
データベース型の『ABI/INFORM』があります。

縮刷版

１か月分の新聞紙面を縮小印刷し、
雑誌形式で発行されるもの（朝日 , 日経のみ）。
過去２年分が２階雑誌コーナーに、
更に古いものは、雑誌館にあります。
（１階カウンターで利用受付）

【主要新聞の所蔵状況】

朝日新聞	新聞原紙（当日～２年前まで） 縮刷版（約２か月前～ 1940（昭和 15）年） データベース『朝日新聞クロスサーチ』（当日～創刊号 1879（明治 12）年）
毎日新聞	新聞原紙（当日～２年前まで） データベース『日経テレコン（フルメニュー版）』（当日～ 1987（昭和 62）年）
読売新聞	新聞原紙（当日～２年前まで） データベース『ヨミダス歴史館』（当日～創刊号 1874（明治 7）年）
日本経済新聞	新聞原紙（当日～２年前まで） 縮刷版（約２か月前～ 1961（昭和 36）年） データベース『日経テレコン』（当日～ 1981（昭和 56）年）
産経新聞	新聞原紙（当日～２年前まで） データベース『日経テレコン（フルメニュー版）』（当日～ 1992（平成 4）年）
神戸新聞	新聞原紙（当日～２年前まで） データベース『日経テレコン（フルメニュー版）』（当日～ 2000（平成 12）年）
英字新聞 **（The Japan Times 等）**	新聞原紙（当日～２年前まで） データベース『ABI/INFORM』（当日～ 1990 年頃） 『The Wall Streest Journal』等

■新聞の種類

新聞には、一般紙・経済紙・業界紙などの種類があります。

一般紙は、政治経済、海外事情、社会問題、スポーツなど、ニュースを総合的に掲載する新聞です。国内全域で販売される全国紙（朝日・毎日・読売など）や、エリアを限定し、地域に密着した情報を強化した地方紙（神戸新聞など）があります。

経済紙（日本経済新聞）はニュースだけでなく、経済やビジネスのデータも収集しています。これらの情報を専門的に分析した記事を掲載しているため、ビジネスに大きな影響力があります。

業界紙は各業界に関する情報に特化した新聞です。一般には流通していませんが、数多く発行されており、一部は２階ヘルプデスク専用端末で利用できます。その他にもスポーツ紙、地域コミュニティ新聞などがあります。

甲南大学図書館に所蔵していない新聞の記事を入手したい場合は、２階ヘルプデスクにご相談ください。

■新聞は毎日読んだほうがよいか

できれば、毎日読んだほうがよいです。新聞は近日中の出来事を取り扱うため、重要な事件は一日分では断片しか載っていません。また、毎日読むことで、自然と時流を掴めるようになります。

毎日全ての記事を読破するのは大変ですが、新聞には「ななめ読み」ができる工夫があります。

まず、見出しの大きさやデザインで、記事の重要性を伝えます。記事冒頭には、「リード」という短文が置かれます。リードには、記事の内容を簡潔を伝えることと、あらかじめポイントを掴んでから本文を読ませることで、読者の理解を深めるという２つの役割があります。つまり、リードを読んでより詳しく知りたいと思った記事だけ本文を読むと、時間がかかりません。新聞紙面が大きいことも、たくさんのニュースを短い時間で伝える知恵なのです。

図書館の新聞コーナーは、各紙の最新版を広げて、かつ並べて読むことができるようになっています。

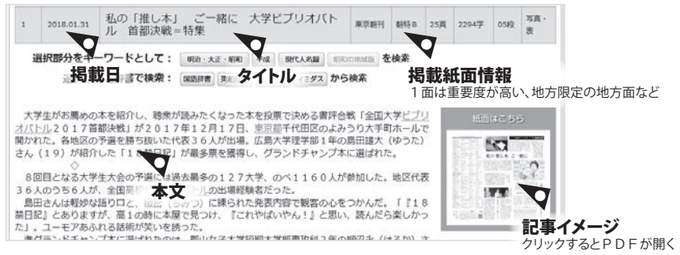
新聞記事データベースの使い方

１．図書館ＨＰ＞データベース＞新聞・新聞記事データベース

２．データベース検索画画面

※画面例：ヨミダス歴史館

３．記事詳細



同時アクセス数に制限があります

新聞記事データベースなど、学内限定のデータベースは、学内で同時に利用できるアクセス数に上限があります。ログインできないときは、少し待ってから再度アクセスしてください。使い終わったら、ログアウトにご協力をお願いします。

ネットニュース

ネットニュースは信頼できる情報源でしょうか。新聞と比べて信頼度が劣る、という意見もあります。

一般的に新聞記事は、新聞記者が取材をして記事を執筆しますが、ネットニュースにはフリーライターが執筆する記事も多く含まれます。うわさだけを繋げたような質の悪い記事もありますが、アナリストによる意見やビジネス現場の体験談など、ネットニュースならではの貴重な情報もあります。もちろん、新聞記事も全てが公正で中立、というわけではありません。

新聞やネットニュースに限らず、私たちは様々なメディアが発信する情報を、「批判的に」読み解かなくてはなりません。「批判的に」とは、反対したり、バッシングしたりすることではなく、情報をどう受け取るかを見定めながら、自分の見解を考えることです。この手法は、「クリティカル・シンキング」と呼ばれ、現代社会で生きるために必要不可欠なスキルです。まずは最低限、①誰が執筆してどこが発行しているか、②いつ執筆された記事か、を確認する習慣を身につけてください。

全国紙や地方紙、ビジネス誌や週刊誌など、多様な報道機関の記事を比べて読めるニュースサイトは大変便利で、ブラウザのホーム画面に設定されていることも多いです。ただし、スマホなどの特定端末で利用し続けると、閲覧・検索履歴や位置情報、人気やスポンサーの影響力など様々な要因で、自動的にニュースが偏って表示されるようになります。スマホの気遣いが不要なら、ときどき閲覧履歴を削除したり、GPSの設定を解除したりしておきましょう。新聞紙面やテレビニュースなど、別のメディアを使って、情報を多角的に捉えることも重要です。

英字新聞・NEWS

あなたが英文ニュースの初心者なら、まずは簡単に「英字新聞の読み方」を勉強しましょう。英文ニュースに使われる独特の言い回しのルールを知っておくと理解しやすくなります（もちろん、図書館にも学習用の本があります）。

辞書を片手に猛勉強もよいですが、少々単語が分からなくても、とにかくたくさん読むという方法もあります（多読学習法）。

図書館の英字新聞は、図書館１階カウンター横の新聞架に、オンラインでも『The Wall Street Journal』があり、皆さんのチャレンジをお待ちしています。

●Voice of America Learning English

（https://learningenglish.voanews.com）

『Voice of America』は、アメリカの海外向け国営放送で、その中の「Learning English」では英語学習者向けに、易しい英語を使ったニュースを配信しています（子供向けではありません）。本家のVOA Newsも字幕や重要単語リストがあって心強いです。

また、イギリスでも公共放送局BBCが、『BBC Learning English』で易しい英語ニュースを配信しています。